



謹賀新年
令和五年癸卯

轉法輪

一片の香煙
一經一口
菩提の妙果
もって因とす
弘法大師

令和五年元旦発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七-〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七-二二一四四〇三
FAX〇七四七-二五-四七二七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

新春のお喜びを

申し上げます

輝かしい年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
本年(癸卯)の年回りは、「寒気がゆるみ、萌芽をうながす年」だと説かれます。みなさまにも、希望が芽吹く春が訪れますように。

初詣にお参り下さい

十二月三十一日(土)

年越し護摩供

一月一日(日)・二日(月)

破魔矢授与

一月三日(火)九時より

新春護摩法会

鏡餅接待

本年の甘酒接待は時間・数量を限定して行う予定です。ご了承ください。また、状況を鑑みて、諸予定に変更がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

犬飼山轉法輪寺

住職 桑山慈紹

お大師さま
のお言葉

(追加注釈:高野山に身を置いていると)少しばかり献じたお香、お経の一文句が、悟りへの大きな導きとなる。(大師の帰京を促す都人へあてた手紙より)

方位の吉凶

令和五年度 癸卯年 みずのとう

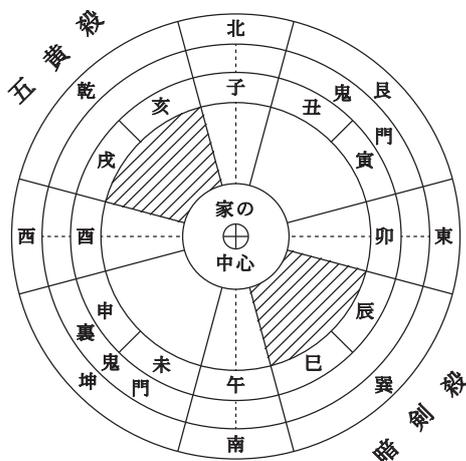
住職 桑山慈紹

新年あけまして

おめでとうございます。

今年も方位の吉凶のお話をさせていただきます。本年癸卯は、四緑木星の年となっております。よって、本宅中心より北西（戌亥六十度）に五黄殺・東南（辰巳六十度）に暗剣殺がめぐり、老若男女を問わず、大凶方

家相方位盤



位となっております。

特に向一ヶ年ご注意ください。

暗剣殺とは何か？

暗剣殺とは、読んで字の如く、暗闇から剣が飛び出して来て殺すと書き、ビックリする様な災難が、外から急に深く鋭く激しくふりかかる方崇りを云います。

よって今年、東南方位に普請、新築、増改築、転宅、就職、進学、結婚、開店、出産、契約等々、何か事を起すに、どなた様にとつても大凶であります。

五黄殺とは何か？

一方乾（北西）の方位の五黄殺とは、強烈な土に戻す作用を引き起す方崇りを云います。

普段一般に、土には野菜など物を育てる力と、土に戻す即ち腐敗させる力があります。この五黄殺とは、この後者の方崇りを強烈にシブトく、深く、激しくうけるもので、三年目、六年目、九年目と三年ごとに

方崇り向う五十年も受ける、誠に恐ろしいものであります。

また、その作用の表れ方も、先述の暗剣殺とは対照的に、ゆっくりと忘れた頃にやつて来ます。

よって本年、この乾（北六十度）方位に建築、改築、転宅、契約、進学、就職、結婚、開店、長期旅行等々どなた様も大凶となります。殊に厄年や、三碧木星、五黄土星の人には、大々凶となります。

歳破神

今年卯年です。よってその反対側の酉（西三十度）に歳破神が巡り、凶方となります。

この方位に、普請、移転、旅行、縁組等求めるは凶といわれています。

本命殺・本命的殺

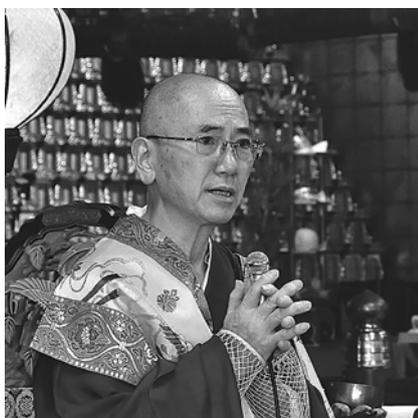
自分の生まれ年の星が位置する方位と、その反対側の方位も凶方位です。人により異なる方位ですので、詳細は開運暦をご参照ください。

家相・方位の相談をお受けいたします。新築・リフォーム・転宅の際はご相談ください。

(3) 輪 法 轉

懺悔を以て
因縁を越える

轉法輪寺住職 桑山慈紹



「私は親と縁を切りたくて、勉強や仕事を頑張ってきたんです。自立すれば関わらなくて済むと。」
そう切り出したのは、歳の頃五〇代半ばでしょうか、身なりも立派な

男性でした。事業も順調、家族にも恵まれているそうです。ですが、急に親の介護問題が湧いてきたのが来寺のきっかけでした。

「はつきり言って、私の親は〈親失格〉です。子どもたちや妻に近づけたくない。」

その男性は、親の老後をみることで、自分の家族たちに悪い影響、昔自分が感じてきた嫌な思いを家族にも与えてしまうのではないかと懸念していたのです。これから親とどのように接していけばいいのか…それが相談の内容でした。

私は「あなたが親にするように、将来あなたの子どもたちも、あなたにするでしょうね。」と答えました。いま申し上げたいのは「悪い関係は世代を超えて、因縁により再び作られる」ということです。因縁を切るとはよく言いますが、中々難しいものです。九字を切っても切れません。

ハエを払うようなもので、またやって来ます。

これを持ち越えるために何をすべきか。それは、自分が経験した全てを「許す」ことです。そして、悪因縁を乗り越えるのは「懺悔」であると私は考えています。

【我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋痴
從身語意之所生 一切我今皆懺悔】
遠い昔から作られてきた、自分につながる悪い業を、いま私が懺悔する。遠い先祖代々の諸々の行いを、自分が替わって懺悔礼拝することです。

百遍、千遍と繰り返し仏前において礼拝し懺悔することで、やがて怒りや罪は消えてゆくことでしょう。写経や読経、霊場巡拝などもよいでしょう。仏道とは、ただひたすらに拝むこと。そのひたすらの先に、光明が見えてくるはずだとお答えさせていただきました。 合掌

水児の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時からお勤めを致します。

『花いっばいの』

お寺にしたいっ！』

副住職 桑山聖淳

木枯らしが吹き始めた今が、春の花の準備シーズン。年がら年中境内を花満開にするのは難しいので、せめてお大師様が御入定された正御影供（当山は四月の第三日曜日としています）は、美しいお花で飾りたいと、手をかじかませながらチューリップの球根の植え付けを進めているところです。

正御影供は四ヶ月も向こうですが、この師走の忙しい時にするのはわけがあります。チューリップは「寒さ」にあてないと花芽ができません。遅くとも年内に植えつけて、冬の寒さにあてることが大切です。不思議なことには暖かい部屋でぬくぬく育てていると、春になっても葉が茂るばかりなのです。お大師さまは、ご自身

の著書のなかで「たまたま如来の警に遇いぬれば菩薩の寛に廻心す」と説かれました。これは小乗仏教（自分一人が悟りを目指す教え）から、大乘仏教（皆で一緒に悟りを目指す教え）への心の移り変わりを示した言葉です。周りの人も救いながら修行をしようとする思いやりの心、菩薩の心が大乘仏教の精神であり、それに到るには仏様からの厳しいお諭しがあるよ、というのです。

素晴らしい花は、ぐっとこらえた経験が花芽になり、やがてほころび開いて輝きます。他の人より不器用だったり、要領が悪かったり、苦労が多いと思ってしまうことがありますが、「菩薩の心」を育てているんだなと考えれば、決して損をしているわけではない、大きく花ひらくための準備なんだと、あわてず落ち込まずいられるような気がします。皆さんどうぞ春の境内を楽しみにしてくださいね！

〈寺嫁日記〉

あした天気になあれ

その十三

小松裕衣

月全体が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が、この秋全国で観測されました。この度の月食は惑星（天王星）食も同時に起き、一五八〇年以来、四百二十二年ぶりの珍しい天体ショーになりました。

我が家では、子ども達は何日も前から望遠鏡を用意して楽しみに待っていました。月食当日は早めに夕食を済ませ、家族で月が欠け始めるのを待ちました。

「一五八〇年って何時代？」と次男照典が尋ねると、おじいちゃんが「一五八二年本能寺の変やから、織田信長の時代、安土桃山時代やなあー」と答えると「えー」と子ども達は大興奮。そうしている間に少しずつ月が欠け始め、次第に赤銅色の満月が

輪 法 轉 (5)

夜空に浮かび上がりました。

すると突然、この秋に三才になった妹・実央が以前からよく兄ちゃん達がドライブで聞いていた歌を歌い始めました。

♪ 空にある何かを見つめたら

それは星だつて君が教えてくれた

兄ちゃん達も妹に合わせて一緒に歌います。

♪ 何十回 何百回 ぶつかりあつて

何十年 何百年 昔の光が

星自身も忘れたころに僕らに届いてる

『優里 ベテルギウス』より

次男「なあ、兄ちゃん。ベテルギウスつてもうすぐ爆発するんじゃないなあ」

三男「え、そうなん？じゃあ、爆発したらなくなっちゃうの？」

長男「それが、爆発するのは十万年先らしい」

次男「十万年先…？ぼくら見られへんな。今度の惑星食も三百二十二年後やから、これが生きている時に見

られる最初で最後の惑星食やな…」

長男「見られて良かったな。目に焼き付けておこうな」

限りなく広がる宇宙の星たちは、なんと美しいことでしょう。かぐや姫が上つていったあの月、信長も見たであろう月を現代の私たちも見ています。壮大な宇宙の奇跡の重



第七回「成就」

今年も合格祈願が多くなる時期になってまいりました。高校や大学、または資格試験等々…合否によつて人生が変わるのですから、年の瀬の今も重圧のなか、机に向かわれている方も多いことでしょう。

祈願の文句はやはり「学業成就」。いままで積み上げた力が発揮できま

なりに心を震わせながら、家族で同じものを眺め、同じ瞬間を過ごす…貴重な、幸せなひとときでした。

次回皆既月食が見られるのは三年後だそうです。三年後もまた、みんな元気で月食が見られますように、と再び元の姿に戻った月にお祈りしながら夜はふけていきました。

すように、と願います。ですからラッキーパンチでノックアウト、というお願いにはなりません。

仏教での「成就」は、「身に具そなえていること」と説いています。『俱舍論』においては、「得には二種あり、いま得ようとすることを「獲」、得終わつて維持しているのを「成就」という」と記されています。

鉛筆一本、あとは身に着けているもので勝負するのが勉学の道です。「昨日の自分は、決して今日の自分を裏切らない。(浅田真央)「大願成就を目標して頑張つて下さい!!

愛知県豊川市

陀羅尼山 財賀寺

御前立 千手観音菩薩 御巡行

財賀寺は聖武天皇勅願、行基菩薩開基、弘法大師中興の古刹。令和六年に開創一三〇〇年を迎えるにあたり、平成三十年より御前立様（本尊は秘仏のため、本尊厨子の前におまつりされている仏様）が全国に行脚し、御縁を結ぶ催しが行われている。令和四年十二月二十一日（令和五年一月二十三日）まで、当山大教堂にて奉安し供養させて頂く予定。

財賀寺千手観音様

霊験記

桑山蓮紹

このたび轉法輪寺に巡行される観音菩薩は、愛知県豊川市の財賀寺、私の故郷の寺の御前立さまです。私

の母は体が弱く、たびたび庫裏より五百メートル程も離れた山中の本堂にこもり、断食をして本尊千手観音様におすがりし一心に手を合わせていました。これは、その母が体験した話です。

暗い本堂の中、目を閉じて「オンバザラタラマキリク…」とご真言を繰り返して唱えている。唱え始めて一体どのくらい経つただろうか、急にお堂の中が真昼のように光り輝くのを感じた。

次の日も同じく、本堂にこもり拝んでいると、本尊様のお厨子の扉がひとりで開いて、私は中に吸い込まれた。そこには小さな舟があり、それに乗ると目にも止まらぬ速さで進みだした。ふと気が付くと、今まで座っていた畳の上に戻っていた。いま座っている処が極楽なのだと直観した。

また次の日も同じように拝む。すると小さなゾウさんが二匹、ひざに

鼻をすり寄せてくる。そういえばゾウは普賢菩薩様の乗り物。いま私は普賢菩薩様に命を頂いているにちがいない…。

それより母は日毎、薄紙を剥がすように少しずつ元気になっていったのです。昭和四十六年には、四国巡拝にも行き、気分の良い時には庭の草取りをしたり、本を読んだり（主にお経の本）真言を唱えて毎日を過ごし、たくさんのお陰を頂いて、平成七年に百歳の長寿を全うすることができました。

私も、「もう一度実家の観音様にお参りしたい、でも膝が痛くて豊川まで行くことはとても叶わない」とあきらめていました。それが何と不思議、観音様が来て下さるとの知らせに有難いやらもつたないやら…。轉法輪寺に来られるまでに何をおいてもお写経を百巻は書かせて頂こうと心にきめ、一心に頑張っているところです。

財賀寺観音様とのお縁むすびのお写経を勧募しています。
ご希望の方は寺務所まで

輪 法 轉 (7)

毎月の法要日に
ぜひ御参拝ください

ご自身・ご家族の健康祈願・
心願成就の為に
ご先祖様のお供養の為に
仏さまとのお縁をより深めて
頂く為に

特に個人祈祷で御祈願をされた方は、
法要においてより多くの御加護・御利
益をお受け頂くことで、心願成就に導
かれることでしょうか。

毎月二十一日

弘法大師御縁日

午前九時半より

お砂踏み霊場おつとめ

午前十時より十二時頃まで

弘法大師月並御影供

法要・お加持・法話等

毎月二十八日

不動尊護摩供厳修

午前九時より十二時頃まで

護摩・法話等

予約は必要ありません。入退室は自由
です。宗旨問わず、どなたでもお参り
いただけます。



永代供養会ご報告とお知らせ

去る十二月十日、当山恒例の永代供養
会を厳修いたしました。コロナ禍にも関
わらず、多数のご参拝誠にありがとうございました。

さて、当山永代供養の「過去帳入り位
牌」について、改めてお知らせを致しま
す。

当山で多数お祀りしている過去帳入り
位牌は、その名の通り過去帳が入った位
牌で、いわば小さなお仏壇と考えて頂い
て結構です。永代供養を申し込まれてい
る各家で新たに不幸があった場合、当
山で祀っている過去帳入り位牌に戒名を
記入し、故人様をお祀りすることができます。

既にお位牌がありますので、志納金・
お供え等はお気持ちで構いません。遠慮
なくお申し付けください。(なお、追記
できる故人様は、過去帳と同じ家の方と
なります。仏壇と同じ考え方です。)

子孫長久のために吉祥の墓地を

轉法輪寺では墓相学に基づいた吉祥の
墓地を檀信徒様にご用意しています。

良い墓地は、各家のより良い未来へと
繋がっています。お問い合わせは寺務所
までお願い致します。

お世話人さま募集! 檀家さんに限らず、信心を持って行事のお手伝いして
もらえる方であれば大歓迎! お大師さまの教えの輪を広げましょう。

初詣

十二月三十一日(土)夜十二時より

百八灯明の点火

般若理趣三昧

初護摩供

一月一日(日)二月(月)

開運破魔矢

狩場明神御真影の授与

御鏡開き(新春護摩法会)

一月三日(火)午前九時より

年男年女大集合!

卯年の方に鏡餅を切つて
いただきます



1月3日(火)

鏡開き護摩に続き、
午前 11 時頃より

盲導犬 チャリティ企画



三日の鏡開き法要の際に、境内で
チャリティを行います。
皆さまどうぞ会いに来てください!



講演 『西山厚先生
観音菩薩に出会う』

初大師

一月二十一日(土)十時より

大般若経六百巻転読法要

―七難即滅七福即生―

初不動

一月二十八日(土)九時より

十二座護摩供

―厄除開運・善願成就の大祈禱―

星祭り結願祭

二月三日(金)十時より

―厄除けのお札を

お渡しします―



星祭祈願受付中

一年間の厄除け開運のために
ご祈禱をお申し込み下さい。